

令和3年8月25日

中野区長 酒井直人殿

公明党議員団 平山 英明
木村 広一
久保 甲香
南 勝彦
甲田百合子
白井 秀史
小林 善一
日野 崇



変異株による感染拡大に対応した対策強化を求める緊急要望

デルタ株の蔓延により区内での驚異的な感染拡大は歯止めがかからず、多くの区民が不安を抱え、感染者に対する国や都、そして区への対応も追いつかない状況である。中野区の感染者数は8月21日には302名となり、累計感染者数が1万人を突破した。現在も1,600人を超える区民が療養中であり、その多くが自宅療養となっている。また、職員等も日々感染者が増加し、庁内でもクラスターとも言える事態の発生も見られた。このままでは、区民を守るべき区への事業継続が途絶えることも懸念される。

区民の命と健康を守り、不安を払しょくするために、早急に区への体制の見直しを含むコロナ対策への対応強化が必要であり、我々公明党議員団は、以下の項目についての迅速な実施を要望する。

【区への事業継続と庁内体制の維持確保】

1. 区民に必要な事業継続が行われる庁内体制の維持確保のため、「中野区事業継続計画」に照らし緊急性・継続性の低い事業の執行を一時的に停止すること。
2. 上記の実施により、保健所等、区民の健康維持や感染拡大防止のための庁内支援体制を大幅に強化すること。

【在宅療養者への支援と区民への周知の強化】

1. 医師会の協力によるオンライン診療体制を早期に構築すること。
2. パルスオキシメーターが現在の貸与基準により所有数を大幅に下回る貸出数になっており、基準の緩和を行うこと。また、パルスオキシメーターの更なる確保を図ること。

3. 陽性者への連絡方法の改善や濃厚接触の疑いがある方への周知、PCR 検査可能なことの周知徹底等を行うこと。
4. ワクチン接種のみならず、第5波による深刻な区内の感染状況を区民が共有し感染拡大防止に協力ができるよう、今何が起き、何ができるのかを分かりやすく区民に伝える広報の見直しを行うこと。

【妊婦及び保育・教育現場における感染予防対策の一層の推進】

1. 妊婦及びその夫またはパートナーへの優先的ワクチン接種を推進すること。
2. 区内に勤務する保育士・教職員等の優先的ワクチン接種を推進すること。
3. 感染予防対策の一層の強化見直しを行うとともに、陽性者の発生を前提とした蔓延防止対策の構築を行い、各現場における対策の周知徹底を図ること。

【緊急事態宣言下での区有施設の利用制限の強化】

1. 9月12日まで、区民利用施設の新規利用予約の受付は停止し、既に予約済の団体においても、利用の中止・延期等を促すこと。また、四季の森公園、平和の森公園水景施設等、緊急事態宣言発出後に制限緩和を行った施設の利用を停止すること。

【庁舎内での感染対策の強化】

1. 庁内での感染拡大防止のため、保健所等専門的見地から改めて、庁内全体の総点検を実施すること。
2. 特に換気の悪い密閉空間の換気を促すため庁内放送により30分に1回5分程度の換気と呼びかける。部屋の中の対角線上にある窓2か所を開ける、対角線上に窓がない場合は、扇風機・換気扇をつける等、可能な限りの換気対策を講じること。
3. エレベーター利用の「分散乗降の呼びかけ」「ソーシャルディスタンス確保」「3密回避」を促す注意喚起の表示を設置すること。
4. 職員入庁時には、検温、手指消毒、不織布マスクの着用を徹底すること。窓口職員においては、お客様対応の都度、手指消毒を行うこと。窓口などに並ぶ際の前後の間隔を1.8m保つことを表示すること。
5. 屋外喫煙施設の感染拡大防止対策を強化すること。